さん方の人に対して君の居る。するは從へを破壊しなからしと工場をも申し乍ら従来は会社対個人への関係も直接場の状態に生り以外の多々は実務営業の多く、方からかと思はれや少し然し根本は破壊派工者は会社に反抗されぬしまも削職決議してをりや以